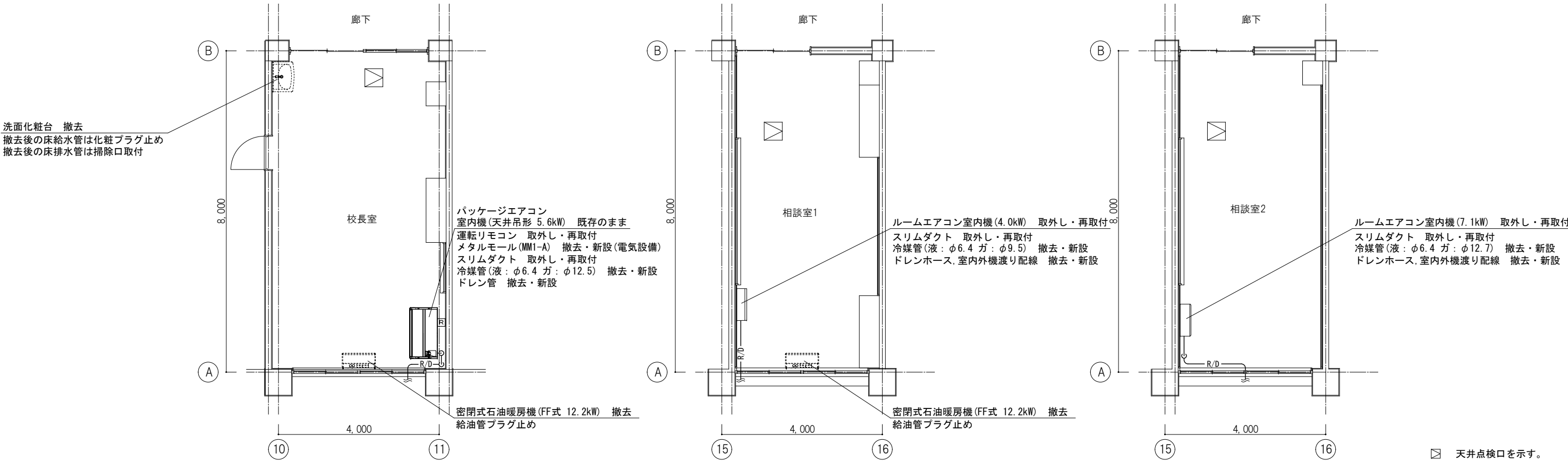
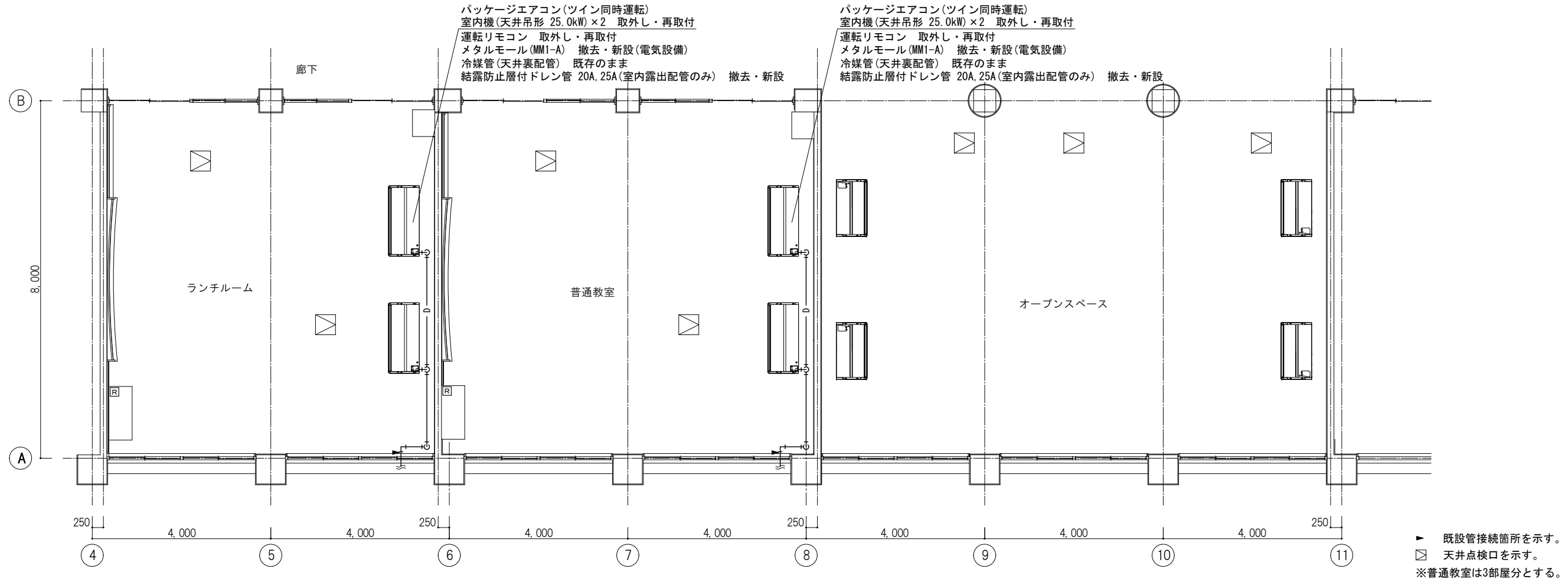


[illegible]

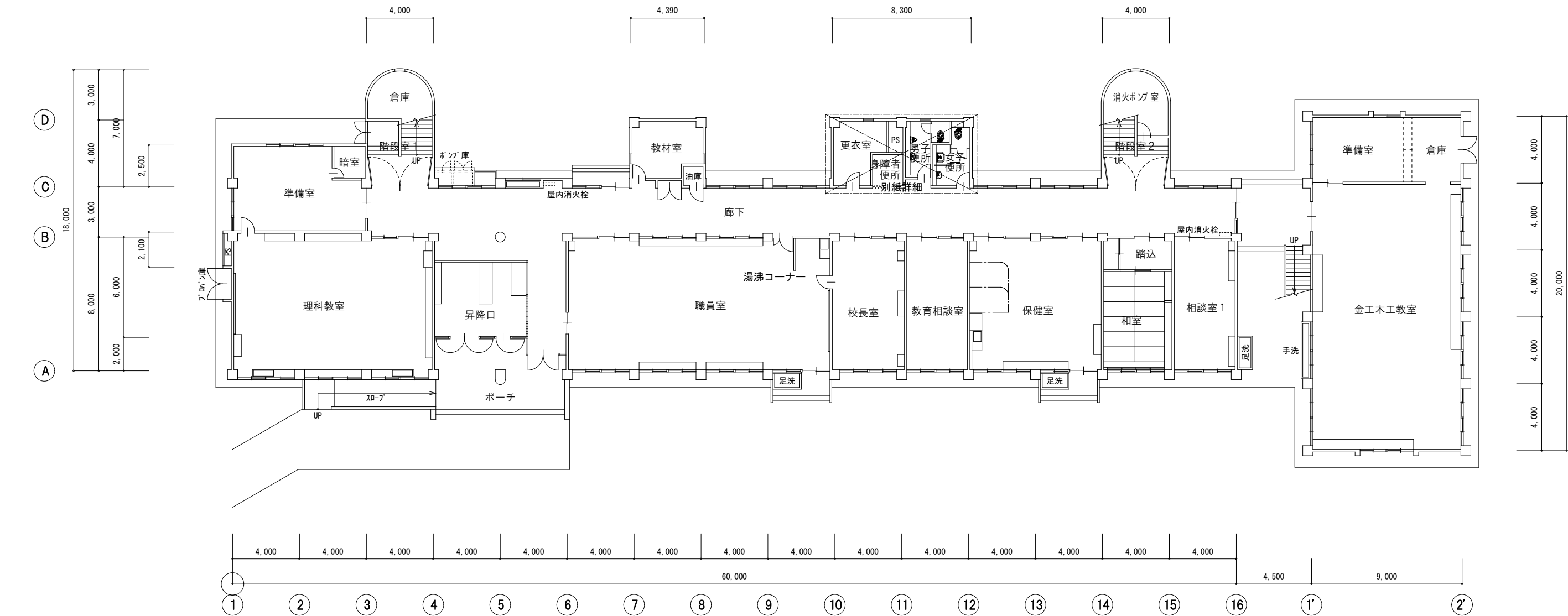
訂正		TAKASHI HARAI ARCHITECTS 株式会社原井隆建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第5582号 一級建築士 登録 第520892号 原井 隆	検 図	製 図	工事名称	図面名称 特記仕様書（一般共通事項）	図面番号
				学びの多様化学校改修工事	M-01		
							縮尺 A3判：N. S.

空 気 調 和 ・ 換 気 設 備	1. 設計用温湿度条件 ② 配管材料 ※重複して適用の場合の 使用区分は図示による 3. 弁類 4. 空調機用トラップ 5. 銅板製煙道 6. ばい煙濃度計 7. 冷却塔 8. ユニット形 空気調和機 9. ファンコイルユニット 空気調和機 ⑫ 集中管理リモコン ・個別リモコン 13. 空気清浄装置 14. オイルポンプ 15. 開放形膨張タンク 16. 地下 オイルタンク 17. オイルサービスタンク 18. ダクト 19. チャンパー等 20. 吹出口・吸込口の ボックス 21. グリス除去装置 22. 風量測定口 23. 温度計 24. 圧力計 25. ダンパー 26. 定風量・変風量 ユニット 27. 冷温水管等のエア抜き	<table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">外 気 条 件</th><th colspan="4">室 内 (調整目標値)</th></tr><tr><th>温度 (DB)</th><th>湿 度</th><th>温度 (DB)</th><th>湿 度</th><th>温度 (DB)</th><th>湿 度</th></tr><tr><td>夏季</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td></tr><tr><td>冬季</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td></tr></table> 1) 冷水・温水・冷温水 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) 2) 膨張・空気抜・補給水 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) 3) 冷却水 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) 4) 蒸気給気 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) 5) 蒸気還水 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (S T P G 3 7 0 Sch40) 6) 油・油用通気 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) 7) 冷媒 ○ 断熱材被覆鋼管 8) 空調用給水 ・ ステンレス鋼管 (S U S 3 0 4) 9) 空調用排水 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 (PVC) ○ 結露防止層付硬質塩化ビニル管 図面に特記なき場合の耐圧は、5 Kとする。 トラップの形式はフロートボール式 (床置型) ※ FRP製保温型 1) 厚さ ※ 3. 2 mm ・ 4. 5 mm 2) ばい煙濃度計 ・ 取付け可能 ・ 取付けない ・ 取付け座を取付ける 3) ばいじん量測定口 (80φ×2) ※ 取付ける ・ 取付けない 4) 伸縮継手及び掃除口は図示による。 投光器及び受光器は、送風器付きとする。 標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。 コイル通過後のケーシングに隣じる表面結露対策は ※ 不要 ・ 図示による。 風量30. 000m3/hを超える機器の許容騒音レベルは、図示による。 冷温水管の接続部 (往・還) にはボール弁を取付ける。 ※ 流量調整弁 ・ 定流量弁 を取付ける。 (定流量弁の場合は ・ ダイアフラム式流量可変式 ・ カートリッジオリフィス形) 床置形にはサブドレンパンを設ける。材質等はドレンパンに準ずる。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 内外送配線は、原則として冷媒管と共巻きとする。 (エアコン含む) パッケージ形空気調和機の記載による。 集中管理リモコンの機能は、 ※ 標準仕様書に記載されている機能 ・ 外部信号を受け一括停止機能 ・ 図示する機能 ・ エネルギーの管理に関する機能 (外部記憶媒体への出力機能含) リモコンの系統区分は図示による。 リモコンユニットは (・ 再生式 ・ 非再生式) とし、形式及び性能等は図示による。 形式 ※ 渦流形 ・ 歯車形 本体の材質 ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 鉄製はしこ ※ 不要 1) 据付け方法は ※ 標準図 (施工32) (二重殻タンク) ・ 標準図 (施工33) (タンク室有り) 2) 保護被覆は ※ FRP ・ エポキシ樹脂 ・ アスファルト 3) 遠隔油量指示装置 (液面計は (・ 抵抗変式式 ・ 磁変式) で (・ 屋内 ・ 屋外) より油量監視用) を取付ける。 4) 基礎杭は ※ 不要 ・ 要 (但し杭は ※ 別途工事 ・ 本工事) 5) 土留め工事は ※ 不要 ・ 要 (・ 本工事 ・ 別途工事) 油面計はケー式 (側圧式) とする。 1) ※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト 2) 長方形ダクトは ・ コーナールボルト工法 (平板フランジ又はスライドオンフランジ) (ただし、長辺が1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする) ・ アングルフランジ工法 3) 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1. 6mm厚鋼板製とする。 4) 厨房用ダクトの板厚は「火災予防条例準則の運用について」による。 1) シーリングディフューザーの接続は標準図 (施工49) を参考とする。 2) 接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。 3) 線状吹出口には、長さ+100×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 4) 外壁に面するガラリにチャンパー等を設置の場合は、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。 ※ 亜鉛鉄板製 ・ グラスウール製 ・ グリスエクストラクター ・ グリスフィルター 標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。 ・ 空調機のサプライチャンパーからの分岐ダクト ・ 外気取入れダクト 標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。 ・ 空気調和機、全熱交換器廻りの送気ダクト、外気ダクト及び給気ダクト 機器付属以外の温度計は ※ バイメタル式温度計 ・ ガード付き形温度計 標準図によるほか図示した箇所に取付ける。 (1) 防火ダンパーは表示等により区分する。 (2) 防煙ダンパー 遠隔復帰式 (定格入力はDC24V、0. 7A以下) ・ メカニカル形 ・ 風速センサー形 1) エア溜まりを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置にエア抜き弁装置 (※ 手動 ・ 自動) を設ける。 2) 自動エア抜き弁装置は、標準図 (施工38 (g)) による。 3) 機械室の手動式エア抜き配管で、特記のない場合の保温範囲は原則として分岐部より2mとする。		外 気 条 件		室 内 (調整目標値)				温度 (DB)	湿 度	温度 (DB)	湿 度	温度 (DB)	湿 度	夏季	℃	%	℃	%	℃	%	冬季	℃	%	℃	%	℃	%	28. 消音内貼り 29. 機器用基礎 30. 空調用流体の水質基準 31. フィルターの予備品	1) 空調用の吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類とする。 2) 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 3) 吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口を取付ける。点検口の大きさは、原則として400×600とする。 防振基礎の防振材及び振動絶縁効率は、標準仕様書および標準図によるほか、図示による。 日本冷凍空調工業会 (冷凍空調機器用水質ガイドライン) による。 空気調和機器等又は「パルプ」の装着枚数の100%を予備品 (枠付) として納める。 7/2/2は総台数の (・ 50% ・ 100%) に当たる7/2/2を予備品 (枠付) として納める。 自動巻取り及びグリースフィルターは装着単位の100%を予備品として納める。 ※ 亜鉛鉄板製 ・ 鋼板製 (厚1. 6mm) ・ バルボ形 (・ 天井取付 ・ 壁取付) ・ スリット形 (・ 天井取付 ・ 壁取付) ・ ダンパー形 (・ 天井内取付 ・) 電気式 (遠隔操作 ※ 不要 ・ 要) 排煙口から自動開放装置への配線は、標準仕様書第4編1. 5. 1表4. 1. 11による耐熱・耐火ケーブルとする。 建築設備定期検査業務基準書2016年版 (一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。 1. システム構成・機能 2. 自動制御機器 3. 自動制御盤 4. 中央監視制御装置 5. 計装工事の配線 図示による。 調節器等の取付け高さは ※ 1300mm 屋内用キャビネットは ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 ・ 有り (構成機能は図示による) ・ 無し 1) 屋外、屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。天井隠ぺいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。 2) 原則として、次の用途に使用する電線類はEケーブルとし、規格は一般共通事項19. 電線類の規格による。 (機器、盤類はこれによらずともよい) 用途 ○ 電源線、接地線 ② 電気式の調節器 (サーモ・ヒューミ等) 用電線 ③ 各種検出器 (温度・湿度等) ・ 操作器 (パルプ・ダンパー等) における弱電信号、通信線を除く制御線	排水 水 設 備 給 湯 設 備 消 火 設 備 力 ス 設 備 浄 化 槽 設 備 雨 水 利 用 設 備 冷 媒 の 回 収 方 法 に 関 する 事 項	4) 屋外排水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VU) ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) 記号 COAD は掃除口を兼用する排水金物を示す。水中形三相誘導電動機は、 (※ 乾式 ・ 油封式) とする。電動機の極数は図示による。 着脱装置、ストレーナー及び水中ケーブルの長さは図示による。 ※ 別途工事 ・ 本工事 小口径等とはコンクリート巻き仕上げとする。 (但し舗装等の仕上げ部分は除く。) (施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。) 1) 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による 2. 弁類 3. 保温 1) 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による 2. 消火栓弁の耐圧 3. 保温 1) 屋内消火栓 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) 地中配管用 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 ビット内 (SGP-VS) 2) 連結送水管 一般配管用 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (Sch40) 地中配管用 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (S T P G 3 7 0 - V S) 3) 一般配管用 ※ 10K ・ 16K 1) 貯水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する 2) 充水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する 3) 消火配管の保温は次による。 (屋外露出・寒冷地は保温種別 e 2・(ハ)Ⅶ による) ・ 屋内消火栓 ※ 施工しない ・ 施工する ・ スプリングラ ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結送水管 ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結放水 ※ 施工しない ・ 施工する ※ 広範囲型2号消火栓 ・ 2号消火栓 ・ 易操作1号消火栓 ・ 1号消火栓 開閉弁の材質は ・ 鋳鉄製 (要部青銅製) ・ ステンレス鋳物製の材質は ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 1. 都市ガス設備 2. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による 3. ガス漏れ警報器 ※ 不要 ・ 要 (取付け位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要) 警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は別途工事とする。 ・ 10kg ・ 20kg ・ 50kg ____本 ※ 借用 ・ 買取り ・ 縦型 ・ 横型 最大充てん量 ____ kg ・ 借用 ※ 買取り 1) 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。 2) 子メーター計量方式 (・ 直読 ・ 遠隔表示) 施工方法は標準図 (施工73) の ・ (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工74) の ・ (a) ・ (b) 1) 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。 2) 子メーター計量方式 (・ 直読 ・ 遠隔表示) 施工方法は標準図 (施工73) の ・ (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工74) の ・ (a) ・ (b) 1) 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。 2) 子メーター計量方式 (・ 直読 ・ 遠隔表示) 施工方法は標準図 (施工73) の ・ (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工74) の ・ (a) ・ (b) 1) 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。 2) 子メーター計量方式 (・ 直読 ・ 遠隔表示) 施工方法は標準図 (施工73) の ・ (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工74) の ・ (a
	外 気 条 件			室 内 (調整目標値)																													
	温度 (DB)	湿 度	温度 (DB)	湿 度	温度 (DB)	湿 度																											
夏季	℃	%	℃	%	℃	%																											
冬季	℃	%	℃	%	℃	%																											

訂正		TAKASHI HARAI ARCHITECTS 株式会社原井隆建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県知事登録 第23(1)第5682号 一級建築士 登録 第320892号 原井 隆	校 図	製 図	工事名称	図面名称 特記仕様書(工種別事項)	図面番号
				学びの多様化学校改修工事	M-02		
							縮尺 A3判：N. S.



訂正		TAKASHI HARAI ARCHITECTS 株式会社原井隆建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第5582号 一級建築士 登録 第320892号 原井 隆	校 図	製 図	工事名称 学びの多様化学校改修工事	図面名称 機械設備図（改修後）	図面番号	
							M-03	
							縮尺 A3判：1／100	区分

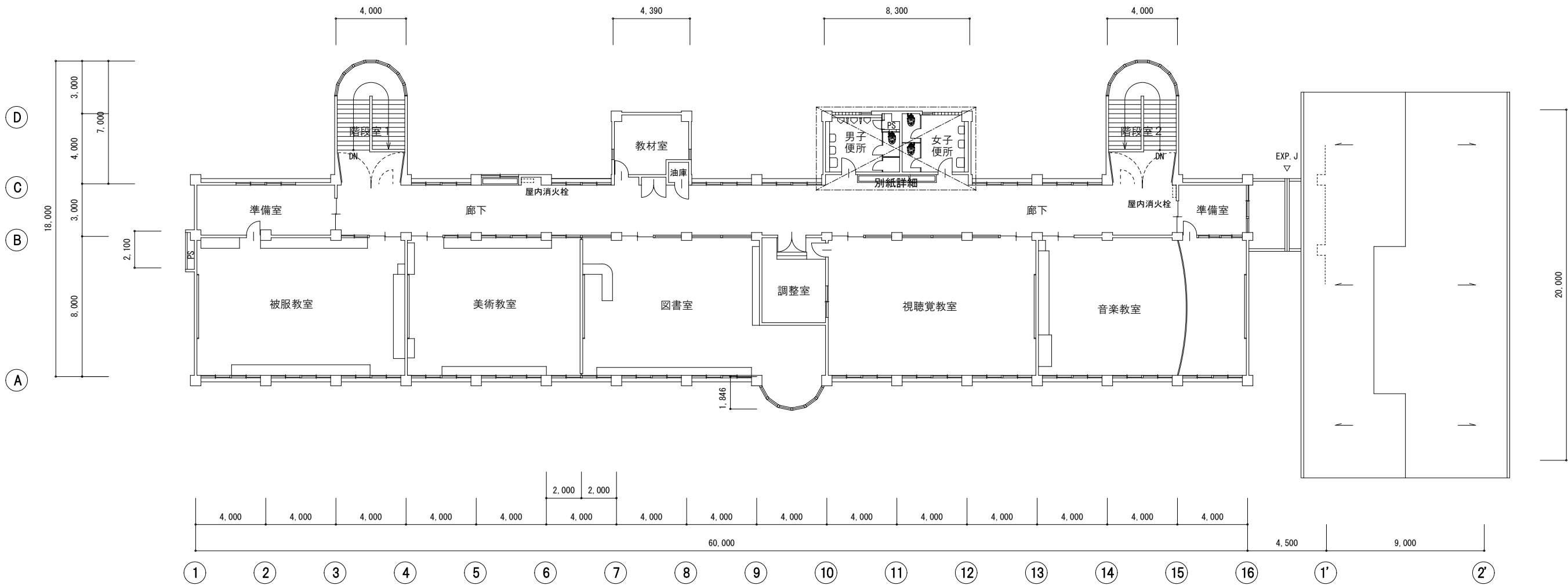


1 階平面図（改修後）

訂正		TAKASHI HARAI ARCHITECTS 株式会社原井隆建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第5582号 一級建築士 登録 第320892号 原井 隆	校 図	製 図	工事名称	図面名称 1 階平面図（トイレ改修）	図面番号
				学びの多様化学校改修工事	M-04		
							縮尺 A3判：1/250



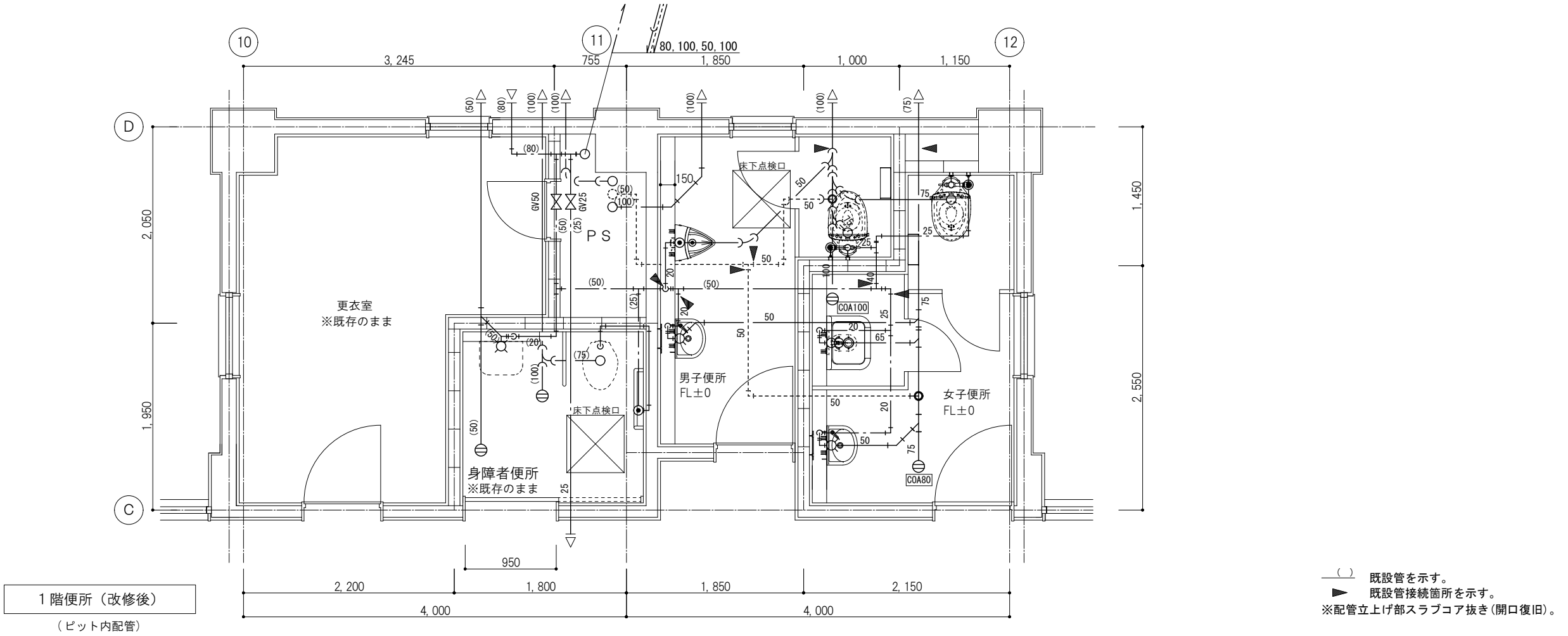
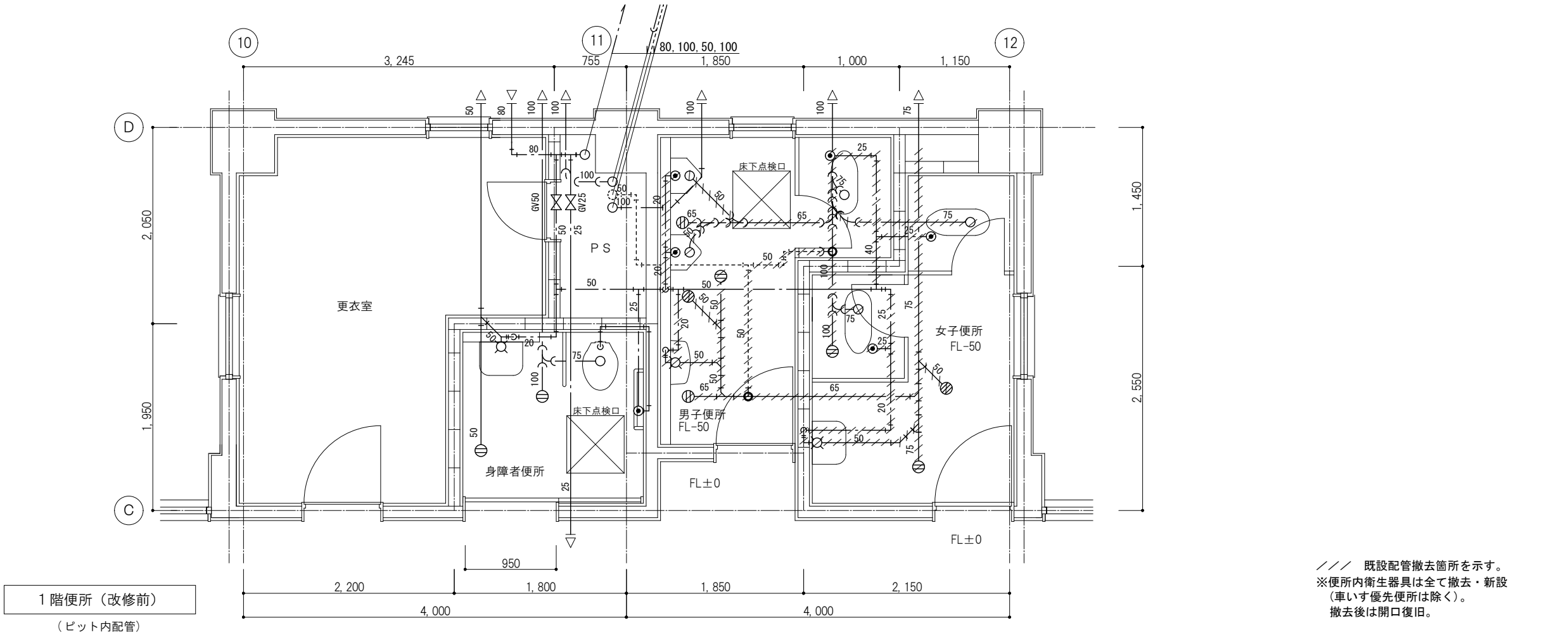
正		TAKASHI HARAI ARCHITECTS 株式会社原井隆建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県知事登録 第23(1)第5582号 一級建築士 登録 第320892号 原井 隆	校 図 製 図	工事名称 学びの多様化学校改修工事	図面名称 2階平面図（トイレ改修）	図面番号 M-05
					縮尺 A3判：1/250	区分



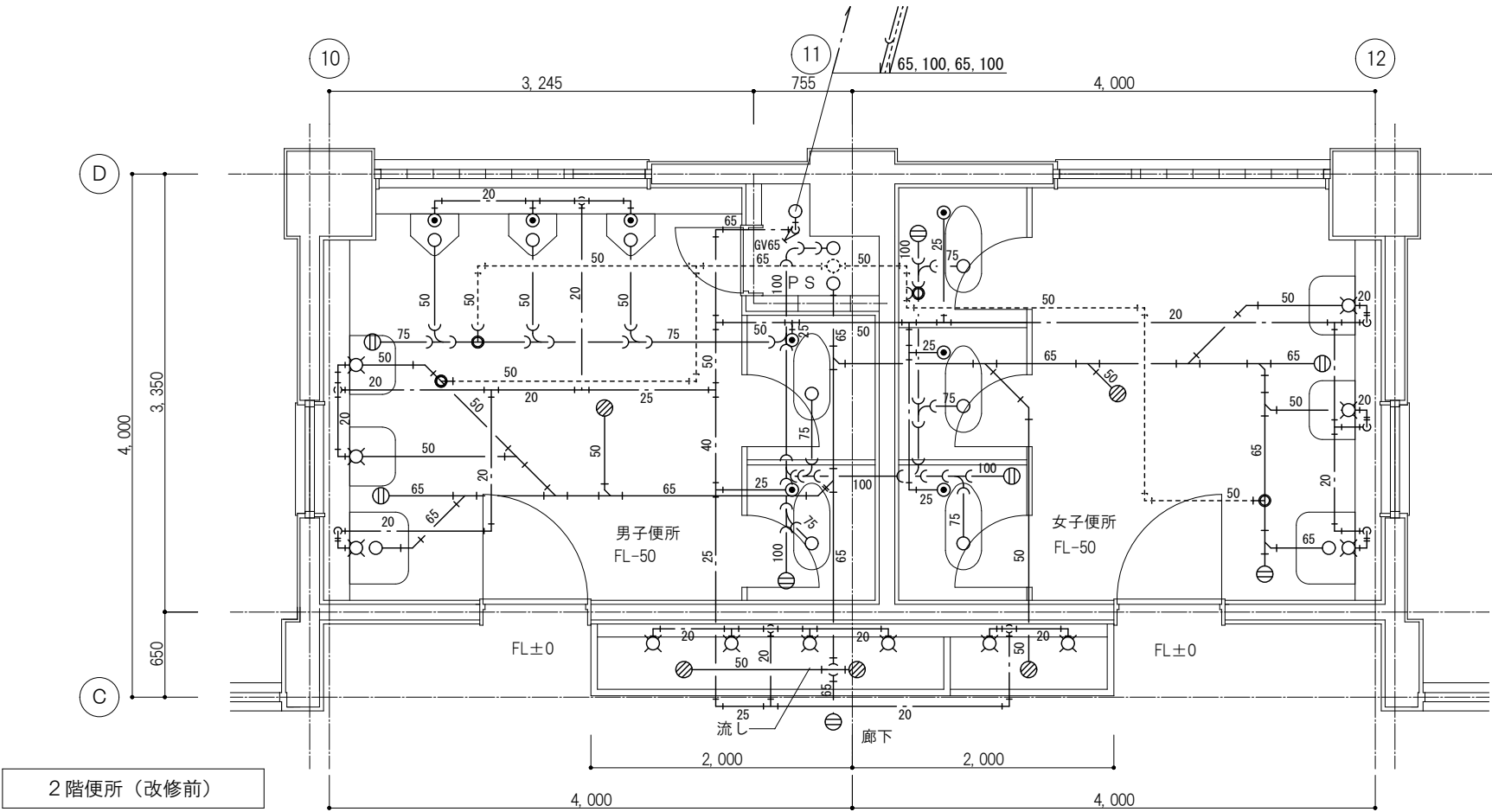
3階平面図（改修後）

訂正		TAKASHI HARAI ARCHITECTS 株式会社原井隆建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第5582号 一級建築士 登録 第320892号 原井 隆	校 図	製 図	工事名称	図面名称 3階平面図（トイレ改修）	図面番号
				学びの多様化学校改修工事	M-06		
							縮尺 A3判：1/250

TAKASHI HARAI ARCHITECTS
株式会社原井隆建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第5582号
一級建築士 登録 第320892号 原井 隆

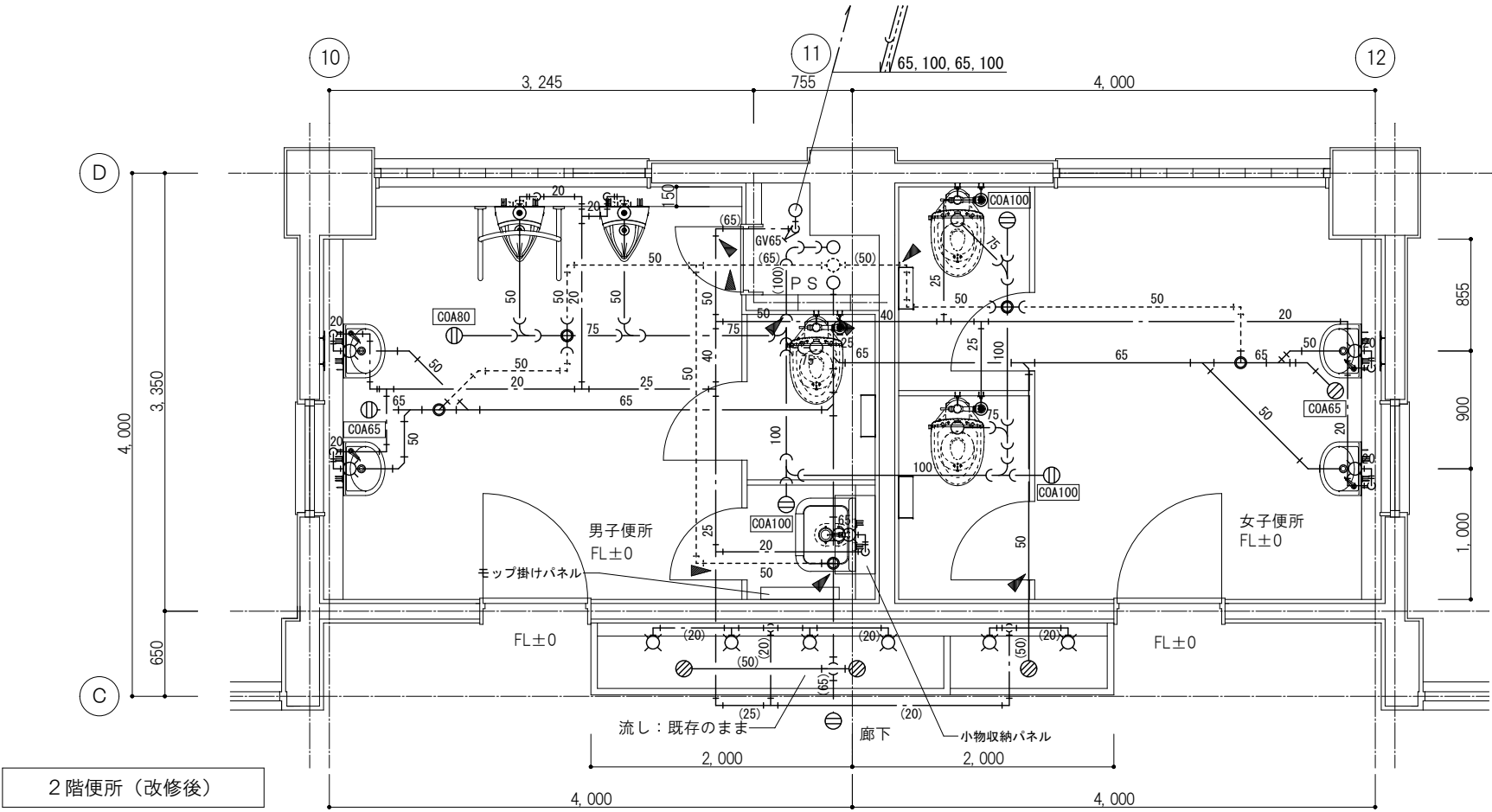


訂正		TAKASHI HARAI ARCHITECTS 株式会社原井隆建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第5582号 一級建築士 登録 第320892号 原井 隆	校 図	製 図	工事名称 学びの多様化学校改修工事	図面名称 1 階便所平面図(トイレ改修)	図面番号 M-07
						縮 尺 A3判: 1/50	区分



2 階便所（改修前）

※便所内給排水配管及び衛生器具は全て撤去・新設
(PS内, 廊下は除く)。
撤去後は開口復旧。



2 階便所（改修後）

() 既設管を示す。
▶ 既設管接続箇所を示す。
※配管立上げ部スラブコア抜き(開口復旧)。

訂正		TAKASHI HARAI ARCHITECTS 株式会社原井隆建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第5582号 一級建築士 登録 第320892号 原井 隆	校 図	製 図	工事名称 学びの多様化学校改修工事	図面名称 2 階便所平面図(トイレ改修)	図面番号
				M-08			
							縮尺 A3判: 1/50

衛生器具表

名 称	参 考 品 番	個 数	1 階		2 階		3 階		備 考
			男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	
洋風便器(手動FV・暖房便座)	CFS494NHNS, TCF116, T56PH×2, HP430-7	8	1	1	1	2	1	2	
小便器(自動FV・壁掛)	UFS900R	3	1		2				
手洗器	L30D, T205QFR-C, T22BP, TL4CFU, TL220D	6	1	1	2	2			
掃除流し	SK22A, T23AEQ20-C, T37SGEP, TN114, T9R, TK22	2		1	1				
小便器用手すり	T113BU22, T110D15×4	1			1				
紙巻器	YH702	8	1	1	1	2	1	2	
化粧鏡	YM3045A	4	1	1	1	1			
小物収納パネル	UTR421N	1			1				
モップ掛けパネル	UTR422N	1			1				

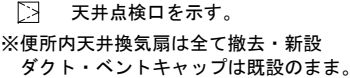
凡 例

記 号	名 称	仕 様	規 格	備 考
—— — — — —	給水管	耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP)	JIS K 6742	1階
—— — — — —	給水管	一般配管用ステンレス鋼鋼管(SUS-SU) 拡管式接合	JIS G 3448	2階～3階
—— — — — — ()	既設給水管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VB)	—	1階～3階
—— — — — — ()	污水管	硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	JIS K 6741	1階～3階
—— — — — — ()	既設污水管	硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	—	1階～3階
—— — — — — ()	雑排水管	硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	JIS K 6741	1階～3階
—— — — — — ()	既設雑排水管	硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	—	1階～3階
-----	通気管	硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	JIS K 6741	1階～3階
----- () -----	既設通気管	硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	—	1階～3階
保 温	給水管	PF 保温筒+アルミガラスクロス	ピット内配管	
	給水管	GW アルミガラスクロス化粧保温筒	ピット内配管を除く	
	排水管	GW アルミガラスクロス化粧保温筒	ピット内配管・通気管を除く	

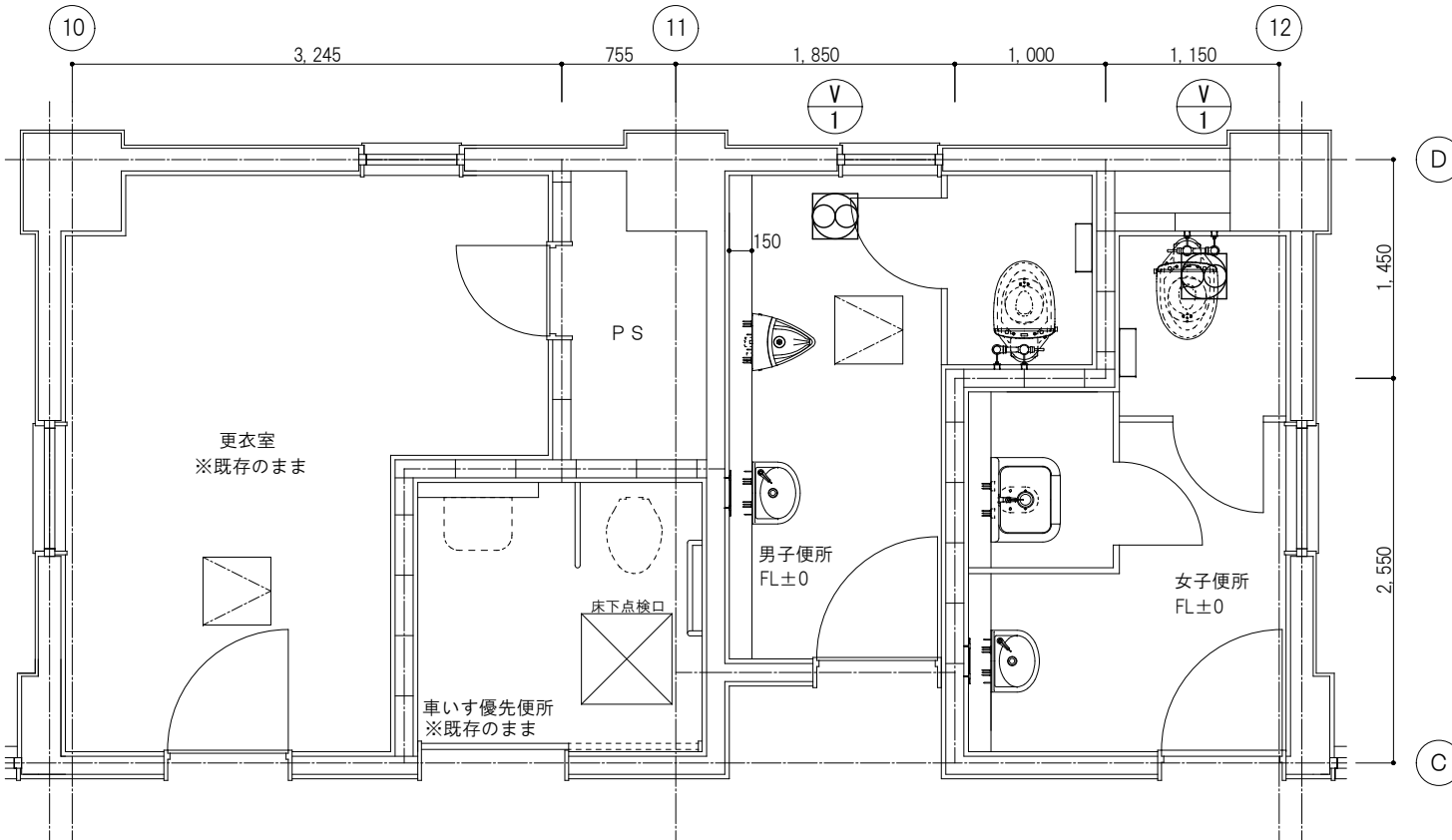
※注 (1) 防火区画貫通部の配管は建設省告示第1422号, 第1900号及び建築基準法施行令第112条15項, 第129条の2の5 1項7号に基づき施工する事。
(2) 保温厚さについては, 標準仕様書を参考のこと。

換氣機器表	
1	換氣機
2	換氣機
3	換氣機
4	換氣機
5	換氣機
6	換氣機
7	換氣機
8	換氣機
9	換氣機
10	換氣機
11	換氣機
12	換氣機
13	換氣機
14	換氣機
15	換氣機
16	換氣機
17	換氣機
18	換氣機
19	換氣機
20	換氣機
21	換氣機
22	換氣機
23	換氣機
24	換氣機
25	換氣機
26	換氣機
27	換氣機
28	換氣機
29	換氣機
30	換氣機
31	換氣機
32	換氣機
33	換氣機
34	換氣機
35	換氣機
36	換氣機
37	換氣機
38	換氣機
39	換氣機
40	換氣機
41	換氣機
42	換氣機
43	換氣機
44	換氣機
45	換氣機
46	換氣機
47	換氣機
48	換氣機
49	換氣機
50	換氣機
51	換氣機
52	換氣機
53	換氣機
54	換氣機
55	換氣機
56	換氣機
57	換氣機
58	換氣機
59	換氣機
60	換氣機
61	換氣機
62	換氣機
63	換氣機
64	換氣機
65	換氣機
66	換氣機
67	換氣機
68	換氣機
69	換氣機
70	換氣機
71	換氣機
72	換氣機
73	換氣機
74	換氣機
75	換氣機
76	換氣機
77	換氣機
78	換氣機
79	換氣機
80	換氣機
81	換氣機
82	換氣機
83	換氣機
84	換氣機
85	換氣機
86	換氣機
87	換氣機
88	換氣機
89	換氣機
90	換氣機
91	換氣機
92	換氣機
93	換氣機
94	換氣機
95	換氣機
96	換氣機
97	換氣機
98	換氣機
99	換氣機
100	換氣機

記 号	名 称	階	設置部屋	台数	機 器 仕 様	出力	相－電圧	備 考
V-1	天井埋込型換気扇			2	サニタリー用低騒音形 100φ×175m3/h	15.5W	1φ 100V	VD-15Z14
		1階	男子便所	(1)	付属品：標準付属品			(三菱電機)
		1階	女子便所	(1)				

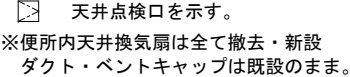


1 階便所 (改修後)



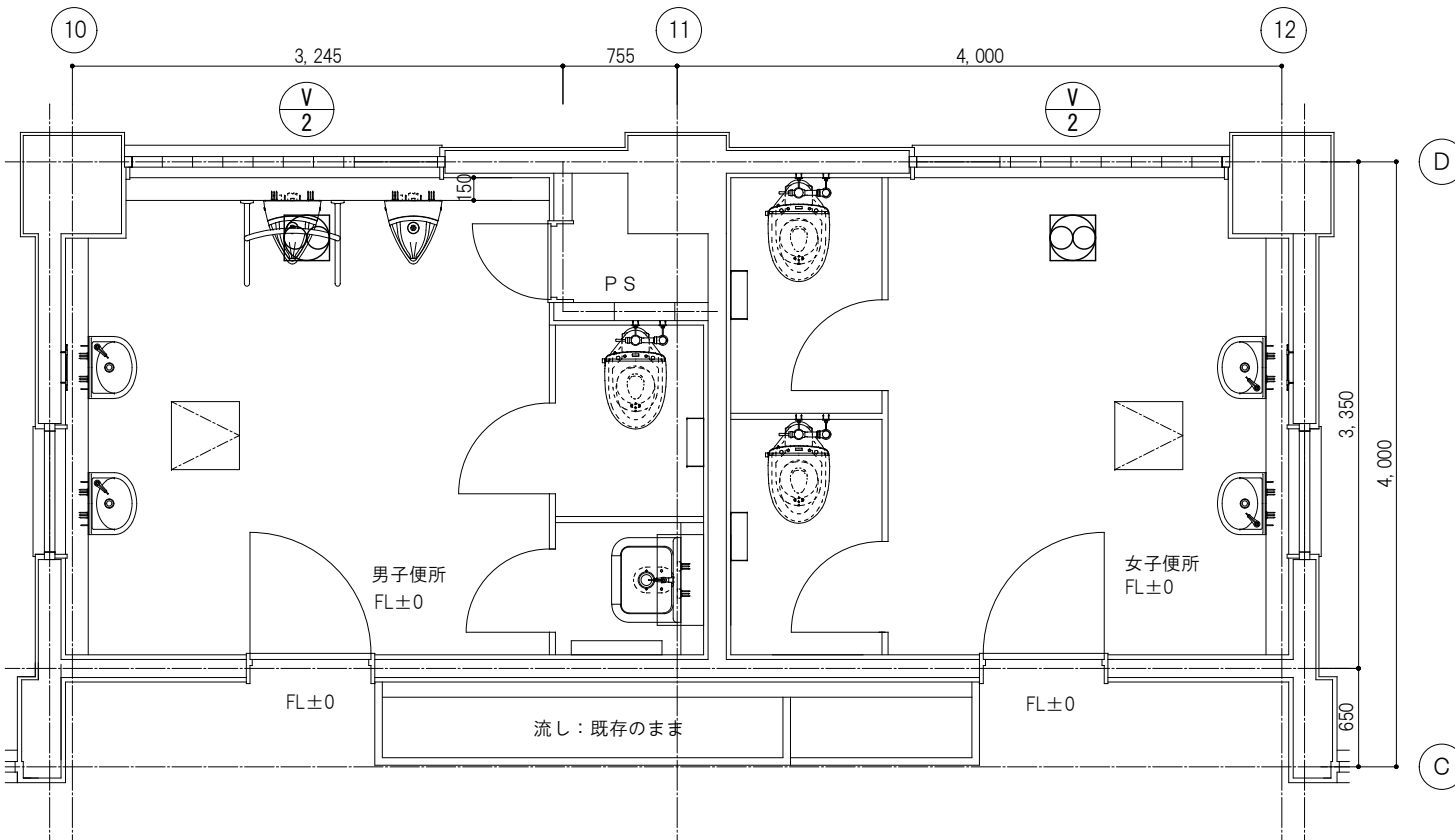
換氣機器表	
1	換氣機
2	換氣機
3	換氣機
4	換氣機
5	換氣機
6	換氣機
7	換氣機
8	換氣機
9	換氣機
10	換氣機
11	換氣機
12	換氣機
13	換氣機
14	換氣機
15	換氣機
16	換氣機
17	換氣機
18	換氣機
19	換氣機
20	換氣機
21	換氣機
22	換氣機
23	換氣機
24	換氣機
25	換氣機
26	換氣機
27	換氣機
28	換氣機
29	換氣機
30	換氣機
31	換氣機
32	換氣機
33	換氣機
34	換氣機
35	換氣機
36	換氣機
37	換氣機
38	換氣機
39	換氣機
40	換氣機
41	換氣機
42	換氣機
43	換氣機
44	換氣機
45	換氣機
46	換氣機
47	換氣機
48	換氣機
49	換氣機
50	換氣機
51	換氣機
52	換氣機
53	換氣機
54	換氣機
55	換氣機
56	換氣機
57	換氣機
58	換氣機
59	換氣機
60	換氣機
61	換氣機
62	換氣機
63	換氣機
64	換氣機
65	換氣機
66	換氣機
67	換氣機
68	換氣機
69	換氣機
70	換氣機
71	換氣機
72	換氣機
73	換氣機
74	換氣機
75	換氣機
76	換氣機
77	換氣機
78	換氣機
79	換氣機
80	換氣機
81	換氣機
82	換氣機
83	換氣機
84	換氣機
85	換氣機
86	換氣機
87	換氣機
88	換氣機
89	換氣機
90	換氣機
91	換氣機
92	換氣機
93	換氣機
94	換氣機
95	換氣機
96	換氣機
97	換氣機
98	換氣機
99	換氣機
100	換氣機

記 号	名 称	階	設置部屋	台数	機 器 仕 様	出力	相一電圧	備 考
V-2	天井埋込型換気扇			2	サニタリ一用低騒音形 100φ×220m3/h	23.0W	1φ 100V	VD-15ZP14
		2階	男子便所	(1)	付属品：標準付属品			(三菱電機)
		2階	女子便所	(1)				
		3階	男子便所	(0)				
		3階	女子便所	(0)				

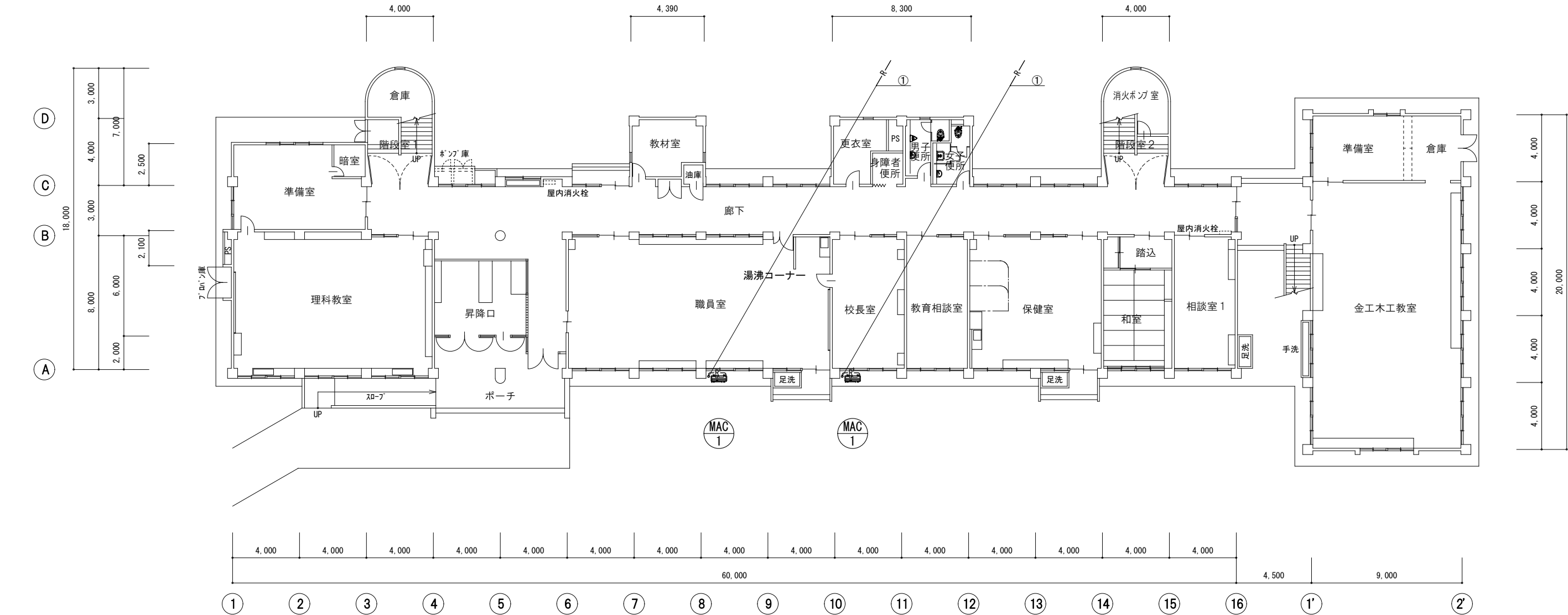


2階便所（改修後）

3階は既存のまま



正		TAKASHI HARAI ARCHITECTS 株式会社原井隆建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1) 第562号 一級建築士 登録 第320892号 原井 隆	換 図	製 図	工事名称	図面名称	図面番号
					学びの多様化学校改修工事 換気設備便所平面図 (トイレ改修)	M-11	
						図 寸 法 A3判: 1/50	図 公 式



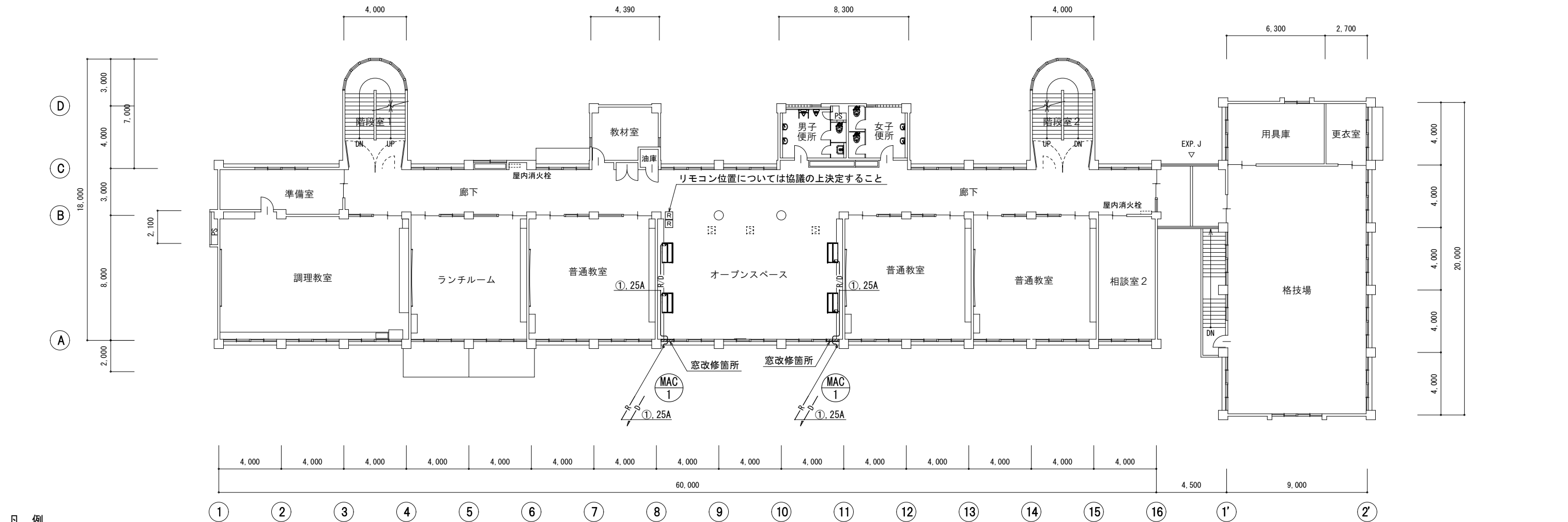
1 階平面図（改修後）

冷 媒 管 リ ス ト		
番号	液 管	ガス管
①	9.5φ	15.9φ

※配管サイズは参考とする。

空調機器表

記 号	名 称	階	設置部屋	台数	機 器 仕 様	電動機名称	出力	相一電圧	備 考
MAC-1	パッケージエアコン (ツイン同時運転)	2階	オープンスペース	2	天井吊形	圧縮機	2.41kW	3φ 200V	SZRH140BAD
					冷房能力：12.5kW(～14.0kW) 暖房能力：14.0(～18.0kW)	送風機(内)	0.091kW×2	1φ 200V	(ダイキン)
					付属品：標準付属品 液晶リモコン(ワイヤード)	送風機(外)	0.211kW	3φ 200V	(既設品)
					転倒防止金具 CON架台	冷房消費電力(定格)	3.48kW		
						暖房消費電力(定格)	3.30kW		
	【特 記 事 項】								
	・本工事で使用する空調機及び付属品は既設品を使用する。								
	・既設品保管場所(旧志和地小学校 三次市下志和地町1371)～本工事場所までの運搬及びエアコンクリーニング(試運転後に実施)は本工事とする。								
	・部材等に不足が生じた場合は監督職員と協議すること。								



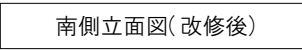
記 号	名 称	仕 様	備 考
—— R ——	冷 媒 管	断熱材被覆銅管（メーカー標準品：保温厚10t（液・ガス共））	室内外機の渡り配線は冷媒管共巻きとする。 屋内外装は合成樹脂製カバー、屋外外装はスリムダクトとする。
—— D ——	ドレン管	空調ドレン用結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管	屋内露出部は冷媒管と共に合成樹脂カバー内とする。 屋外露出部はカラーパイプとする。
	リモコン	EM-ECTF1. 25sq-2C	1種金属製線びにて屋内露出配線にて取付とする。 天井内はころがし配線とする。
	天井点検口		既設
	窓パネル改修箇所		建築工事

2階平面図（改修後）

冷 媒 管 リ ス ト		
番号	液 管	ガス管
①	9.5φ	15.9φ

※配管サイズは参考とする。

訂正		TAKASHI HARAI ARCHITECTS 株式会社原井隆建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第5582号 一級建築士 登録 第520892号 原井 隆	検 図	製 図	工事名称	図面番号
					学びの多様化学校改修工事	2階平面図（空調設備） M-13
						縮尺 A3判：1/250 区分



記 号	名 称	仕 様	備 考
—— R ——	冷 媒 管	断熱材被覆銅管(メーカー標準品：保温厚10t(液・ガス共))	室内外機の渡り配線は冷媒管共巻きとする。 屋内外装は合成樹脂カバー、屋外外装はスリムダクトとする。
—— D ——	ドレン管	空調ドレン用結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管	屋内露出部は冷媒管と共に合成樹脂カバー内とする。 屋外露出部はカラーパイプとする。
	窓パネル改修箇所		建築工事

※配管サイズは参考とする。

訂正		TAKASHI HARAI ARCHITECTS 株式会社原井隆建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第5582号 一級建築士 登録 第320892号 原井 隆	検 図	製 図	工事名称	図面名称	立面図（空調設備）	図面番号
					学びの多様化学校改修工事			M-14
								縮尺